

科目	現代思想文化論 (A Study of Modern Thinking and Culture)		
担当教員	本田 敏雄		
対象学年等	全専攻・1年・前期・必修・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	D2(100%)	JABEE基準1(1) (a)
授業の概要と方針	グローバル化という語で特徴づけられる現代社会に生きる我々が日々巻き込まれ直面している問題、個々人の存在感の希薄化、宗教観倫理観の喪失等を、地球規模で展開される政治経済の運動をむしろ文化史思想史の中の事件として捉え、これらの問題に潜む歴史性を明らかにするところから、その解決に取り組む際の視点を提供したい。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【D2】 グローバリゼーションとは何かを理解する。		グローバル化を成立させる要因を理解したかどうかを、試験又はレポートで評価する。
2	【D2】 グローバリゼーションの背景にある価値観を理解しそれと対立する価値観を学ぶ。		効率性の理解とそれと対立する価値観とをどう理解したかを、試験又はレポートで評価する。
3	【D2】 それぞれの価値観の歴史的背景、展開、特徴を理解し、自分なりの解釈を確立する。		試験およびレポートにより、基礎的な概念を理解しているかどうか、そしてそれらを与えられたテーマに合わせて自分なりに展開する論述の完成度により評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%、レポート30%として評価する。		
テキスト			
参考書	「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」：M・ウエーヴァー（岩波文庫） 「ギリシャ哲学と現代」：藤沢令夫（岩波新書） 「日本の霊性」：鈴木大拙（岩波文庫）		
関連科目	論理学 哲学特講		
履修上の注意事項			

授業計画 1 (現代思想文化論)

週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	序論 この講義の射程	グローバリゼーションとは何か、思想史から考えるととは。
2	現代におけるグローバリゼーションの動向とその本質理解のために	現代のグローバリゼーションを支える経済的・政治的システム資本の自己増殖
3	グローバリゼーションを思想的に支えるもの	西洋の近代化を支えたもの(ピューリタニズム) 効率性(よりよく, より早く, より多く)
4	プラトン vs アリストテレス (価値と効率性をめぐって)	二つの運動概念: エネルゲイアとキネーシス
5	西洋思想の源泉に帰る (理性の普遍性の在り方)	プラトンの思考, アリストテレス的思考
6	西洋中世の普遍論争	普遍性を巡る対立の理解
7	イギリス経験論と大陸合理論(1)	合理的という概念の解釈の相違 イギリス経験論
8	イギリス経験論と大陸合理論(2)	大陸合理論 デカルトからヘーゲルへ
9	超越論的思考 vs 集合論的思考(1)	自我概念 抽象的な思考 具体的な思考
10	超越論的思考 vs 集合論的思考(2)	実存について(かけがえのない自分とは)
11	東洋ないし日本の伝統(1)	禅仏教と浄土教
12	東洋ないし日本の伝統(2)	西田幾多郎
13	現代思想の諸相(1) 価値 効率性 普遍性 科学性	科学的思考と伝統
14	現代思想の諸相(2) 価値 効率性 普遍性 科学性	科学的思考と哲学的思考
15	超越論的思考からの総括	自我概念を自分の内から抽象することはできない現代社会に生きる自分を見つめ直す
備考	中間試験は実施しない。定期試験を実施する。レポート, 試験で評価をする。	